

中心市街地



川越のシンボル「時の鐘」や重厚な蔵造りの町並みが残る一番街周辺は、1999年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定。秋に行われる山車行事「川越まつり」には、毎年100万人近い観光客が訪れる。

外観



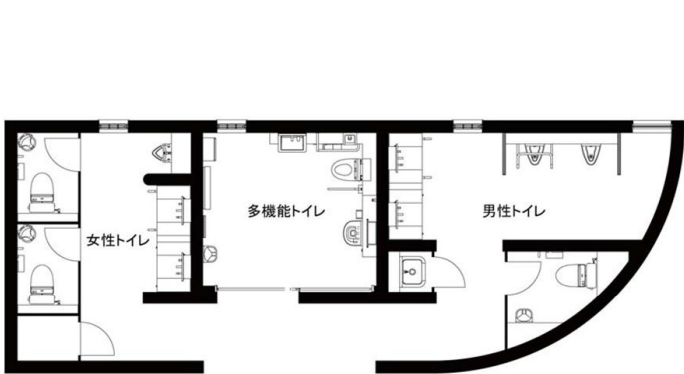
駅方向から一番街へ延びる県道39号線の連雀町交差点に建てられたトイレ舎。蔵造りの町並みの雰囲気にあわせて、外壁は杉板化粧型枠コンクリート工法で仕上げられ、温かみを感じる佇まいとなっている。

トイレ内観



壁と天井の間に開口部を設け(右上)、壁の一部にガラスブロックをはめ込む(左)など、においがしない明るく快適なトイレを実現。防犯対策として防犯カメラを設置(右下)、夜間は警備巡回を行っている。

トイレ図面



トイレサイン



男・女トイレと多機能トイレがひと目でわかるように、サインを色分けしている。入口正面には、トイレ内の設備が確認できる触地図を設置。外国人観光客への配慮として英文を併記している。

女性トイレ 大便器ブース



小さなお子様連れに配慮して、すべての大便器ブースにベビーチェアを設置。暖房便座や立ち座りをサポートする手すりも備えている。大便器後方には、手荷物を置くための荷物棚も用意されている。

女性トイレ 洗面コーナー



高齢者や杖使用者の立位をサポートするために、手すりを備えた洗面カウンター。水栓金具は、ノンタッチで水の出し止めができる自動水栓を設置。小さなお子様連れに配慮して、幼児用小便器も備えている。

多機能トイレ



車いす使用者やオストメイト、小さなお子様連れなどさまざまな利用者に配慮して、オストメイト対応トイレバック・フィッティングボード・ベビーチェア・ベビーシート・おむつ用ダストボックスなどを完備している。

建築概要

名 称	川越市連雀町交差点公衆トイレ
所 在 地	埼玉県川越市連雀町1番地
施 主	川越市
設 計	川越市
施 工 竣 工	有限会社小建
年 月	2014年3月

男性トイレ 小便器コーナー



小便器はデザイン性と清掃性に優れたRESTROOM ITEM 01を採用。背後の壁面には、傘や手荷物などを掛けられるフックを取り付けている。

掃除用流し・用具入れ



掃除用流しや掃除道具、洗剤、トイレトペーパーなどを収納するためのブースを設置。清掃時以外は施錠している。市が川越市シルバー人材センターに委託し、トイレ清掃が実施されている。

水まわりの特長

<建設の経緯>
「小江戸川越」として有名な川越市の中心市街地には、蔵造りの町並みや時の鐘、川越城本丸御殿など、江戸の情緒を感じさせる旧跡や歴史的建造物などが今でも多く残り、国から歴史都市に認定されている。埼玉県内屈指の観光地として年間約650万人の観光客が訪れるなか、街中のトイレ整備を求める声が年々高まり、特に連雀町交差点の公衆トイレは、人気観光エリアに近いということもあり、その要望が多く上がっていた。当該地区は、土地区画整理事業として周辺道路の拡張工事が決まっていたこともあり、場所を移して新しくトイレ舎を建設した。

<水まわりの特長>
市民や観光客からの要望もあり、すべて洋式便器を採用し、冬季の使用に配慮した暖房便座を設置。小さなお子様連れに配慮して、すべての大便器ブースにベビーチェア、女性トイレには幼児用小便器を設置。多機能トイレにも、ベビーシートやベビーチェア、おむつ用ダストボックスを完備している。そのほか、におい対策として壁と天井の間に開口部を設けトイレ内の換気を図り、市が川越市シルバー人材センターに委託し、平日1回、休日2回のトイレ清掃を実施し、清潔で衛生的なトイレ空間を維持している。